

## 2021-02 経営協議会議事概要

日時 令和3年6月18日（金）13:30～15:20

場所 事務局棟2階 会議室

【一部の構成員等（※を付した者）はオンラインで出席】

出席者 伊藤学長（議長）

志田、末松、高木、二井、※眞崎、※丸山、向井、横山、渡辺 各学外委員

鶴原、緒方、尾西、今西、伊佐地、木下 各学内委員

欠席者 鈴木 学外委員

陪席者 服部、小川 各監事

### I 審議事項

#### 1. 令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

尾西理事から、「資料：審-1、参考1～4」に基づき、「令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）」を国立大学法人評価委員会へ提出することについての説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

#### <主な意見>

- 県内就職率に関しては、学生側の就職マインドや企業側の採用マインドなど様々な事情が重なってくることから、大学の努力だけではいかんともしがたく、目標が未達となることは仕方がない面もある。三重県に限定するのではなく、愛知県や岐阜県も含めた東海圏で目標を立て、達成に向けた取組みを進めていただきたい。

#### 2. 令和2年度決算報告について

木下事務局長から、「資料：審-2」に基づき、国立大学法人法第35条において準用する独立行政法人通則法第38条に基づき文部科学大臣に提出する財務諸表、決算報告書、事業報告書及び監査報告書についての説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

#### <主な意見>

- 企業会計と国立大学法人会計とでは考え方が異なるため単純な比較は難しいと思うが、12.7億の総利益が出たことについては、新型コロナウイルスの影響で執行できなかった予算が相当あり、結果として思った以上の利益が出てしまったということであると思う。未執行の部分や結果として生まれた利益を今後どうしていくかが重要である。  
→ 総利益12.7億円のうち目的積立金の5.8億円については、令和3年度中に執行する必要があることから、学生支援や老朽化施設の改修などに充てることが考えられるが、用途については本会議でもご意見を賜りたい。
- 当初予算では当該年度のすべてのことをカバーしきれないのは当然であるため、行政でいう補正予算、企業でいう追加予算のようなものを組み、できる限り未執行の部分が残らないようにした方が大学の活動の結果としても良いのではないか。

- 新型コロナウイルスという未曾有の事態の中、経済的に困窮する学生も多数いると思われることから、執行できなかった予算があるのであれば、そのような学生への支援や支援に携わる組織体制の整備等に充てるといったことも考えて良いのではないか。
  - 前年度との比較で経常利益が5.8億円のマイナスとなっている。新型コロナウイルスの影響で病院収益は減額したがその分は補助金等で賄われおり、診療経費も昨年度からマイナスとなっていることから、経常利益のマイナス要因はどこにあると考えているか。
- 細部については改めて評価・分析し、次回会議でご報告する。

### 3. 令和4年度概算要求について

尾西理事から、「資料：審-3-1及び3-2」に基づき、令和4年度概算要求に関する本学の方針についての説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、この方針に基づき策定した計画案については、7月中旬にメール審議することとした。

#### <主な意見>

- 社会的インパクト評価に基づく配分については非常に分かりにくい。社会にインパクトを与えるような取組みは大学だけでは不可能であり、産官学が一体となって取り組むことで初めて実現されるものであるが、大学の努力が適切に評価されるのか疑問である。
- 三重県内でも北勢・中勢・南勢で人口構成や主要産業が全く異なり、求められる人材も違ってくる。そのような地域の特性に応じて大学から人材を輩出していただくことは非常にありがたいことではあるが、一方で、研究については地域ばかりではなくグローバルな視点で取り組んでいただかないと、どんどん取り残されてしまうことから、その点も踏まえて計画いただきたい。
- 「運営費交付金ミッション実現戦略分を検討する際の参考資料」の中に、「教育面の取組等により高等学校段階以下の教育に影響を与えるという視点も重要」との記載があることから、この点についてもぜひ考慮いただきたい。
- 三重大学は三重県内すべての市町と協定を結んでいるが、その際も、その先に何を見据えているのかが分からなかった。第4期ではインプット指標ではなくアウトプット、アウトカム指標が求められているというのも、そういったところのように思う。

### 4. その他

なし

## II 報告事項

### 1. 令和3年度国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等の報告について

尾西理事から、「資料：報-1-1、1-2」に基づき、令和3年度国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等の報告に関し、国立大学協会通知及び文部科学省通知の概略についての報告があった。

### <主な意見>

- 新型コロナウイルスに係る学生への対応で批判が相次いだことについては、関係の委員会に学生も出席させて意見を聴き、大学側の考えやメッセージをしっかりと伝えることが必要であると思う。教職員だけの会議で決めて、一方的に上から押し付けのような感じになると、学生の反発を招くように思う。

### 2. 不正防止対応策の進捗状況について

企画総務部長から、「資料：報-2」に基づき、5月末現在における不正行為の再発防止策の実施（進捗）状況についての報告があった。

なお、「内部通報及び外部通報システムの整備について」及び「内部監査・調査の強化について」に関しては、前回会議における委員からの意見を踏まえた対応となっている旨の説明があった。

### <主な意見>

- 内部通報をメールでも受け付けるようにしたことについて、メールで匿名性を確保できるのか疑問があるが何か工夫を施しているのか。また、コンプライアンス研修について、e-Learning以外の研修の受講者数が非常に少ないように思うが妥当な人数なのか。
- メールによる受付は学外窓口の法律事務所であり、そこから大学に連絡が来る際は、氏名等は伏せることとなっている。研修の受講者数はとても十分とは言えない状況であり、コンプライアンス意識を醸成していくことが喫緊の課題であると考えている。

### 3. 令和2年度就職状況調査の報告について

野崎副学長から、「資料：報-3」に基づき、令和2年度の就職状況についての報告があった。

### <主な意見>

- 三重大学はインターンシップ強化に取り組んできたが、この取組と県内就職率との因果関係をどのように評価しているか。
- 就職に関する意識が弱いところが地方国立大学生の特徴であることから、キャリア教育として、インターンシップを通じて学生に地域企業の魅力を感じてもらい、就職に関する意識を高めてもらうことが目的であり、インターンシップの経験を踏まえて就職時にその企業を選ぶ可能性は高まってくると思われる。現3年生から全学生が必須となっていることから、この学年の就職状況をしっかりと評価して指導に活かしていく。

### 4. その他

#### (1) 次回開催について

9月17日（金）13：30～

以上